11月7日（土曜日）「報われない善行を」

【新改訳 2017】

ルカ　14•12-14

「‥‥‥祝宴を催す場合には、むしろ、貧しい人‥‥‥たちを招きなさい。その人たちはお返しができないので、あなたは幸いです。義人の復活のときお返しを受けるからです」（13、14 節）

　できればぜひ、この前後の聖句も読んでください。主イエスが語っておられることの主旨が、もっとよくおわかりになるでしょう。

　イエスのお話は、しばしば、一見極端な表現に思われることもありますが、それは、真理を明確に教えるための強調法だったのです。祝宴には貧しい人や不幸な人たちを招きなさいとか、お返しされないので幸いです、と言われているのもそれです。

　私たちは、人のために何かをするという時、結局は、今の自分の益や名誉、喜びに報いを求めてやっているのではないでしょうか。

　主イエスはそれを戒め、今お返しのできない、真に助けを必

要としている人々にこそ善を励みなさいと言われるのです。

　報いは、終わりの時に、主から与えられることも覚えておきまょう。

～祈り～

主イエスさま。少しの善行でも、大きな報いを欲するような私たちです。どうか、報いを期待できない、すべきでないところで真の善行ができる者としてください。

【学びのために】

マタイ 6•1-6、19,20 参照。